

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成27年5月7日(2015.5.7)

【公開番号】特開2013-219963(P2013-219963A)

【公開日】平成25年10月24日(2013.10.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-058

【出願番号】特願2012-89843(P2012-89843)

【国際特許分類】

H 02 M 3/155 (2006.01)

H 05 B 37/02 (2006.01)

H 05 B 37/03 (2006.01)

【F I】

H 02 M 3/155 U

H 05 B 37/02 J

H 05 B 37/03 B

H 02 M 3/155 C

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月16日(2015.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

負荷回路の一対の入力端子が着脱自在に電気接続される一対の出力端子と、所定の内部抵抗を有し、上記一対の出力端子に対して電圧を印加する電圧源回路と、上記一対の出力端子の間の電圧を検出する電圧検出回路と、上記一対の出力端子に上記負荷回路が接続されているか否かを判定する判定回路と、上記負荷回路が接続されると上記判定回路が判定した場合に、上記負荷回路に所定の電流を流そうとする電流源回路とを有し、

上記判定回路は、上記電圧検出回路が検出した電圧が所定の閾値より大きい場合に、上記負荷回路が接続されていないと判定することを特徴とする電源装置。

【請求項2】

上記電流源回路は、

上記負荷回路が接続されていると上記判定回路が判定した場合に、オンオフを繰り返し、上記負荷回路が接続されていないと上記判定回路が判定した場合に、継続してオフになるスイッチング素子を有し、

上記電圧源回路は、

上記スイッチング素子と並列に電気接続し、上記スイッチング素子が継続してオフであるとき、上記スイッチング素子をバイパスして電流が流れる経路を形成するバイパス回路を有する

ことを特徴とする請求項1に記載の電源装置。

【請求項3】

上記バイパス回路は、

直列に電気接続した複数の抵抗と、

上記複数の抵抗の接続点の電位を略一定にする定電圧素子と

を有することを特徴とする請求項 2 に記載の電源装置。

【請求項 4】

上記バイパス回路は、

上記バイパス回路を電流が逆流するのを阻止する整流素子を有することを特徴とする請求項 2 または請求項 3 に記載の電源装置。

【請求項 5】

上記判定回路は、上記電圧検出回路が検出した電圧が、上記閾値より小さい第二の閾値より小さい場合に、上記一対の出力端子に接続されている負荷回路が異常であると判定し、

上記電流源回路は、上記負荷回路が異常であると上記判定回路が判定した場合に、動作を停止する

ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかに記載の電源装置。

【請求項 6】

上記負荷回路は、

直列に電気接続した複数の発光ダイオードまたは有機エレクトロルミネセンスと、

上記複数の発光ダイオードまたは有機エレクトロルミネセンスの直列回路と並列に電気接続した抵抗と

を有することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のいずれかに記載の電源装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至請求項 6 のいずれかに記載の電源装置と、

上記電源装置から供給された電力により点灯する光源を有する負荷回路を、着脱自在に固定する固定部と

を有することを特徴とする照明器具。